



旬の味覚が勢揃い

秋のビッグイベント 開催！！

10月19日 沼田市農業まつりが開催されました。農業委員・推進委員も農産物の販売担当と抽選担当に分かれて参加しました。地元産の農産物や手作りコンニャク、沼田市と交流のある下田市からは干物などの海産物が販売テントに並びました。



大盛況の直売所

旬の野菜などをお祭り価格で販売



抽選会場も、この賑わい！

また、抽選会場では地元産のお米やきのこの詰め合わせなどが景品として並び、特等はずっと、リンゴの木1本分の実を収穫できる券！広場にたくさん人が集まってきたと思えば、大人気の「餅投げ」が開始。フィナーレを飾りました。直売所や抽選会場、その他の販売テントにも多くの方が訪れ、農業まつりは大いに盛り上がりました。

『ぬまた農縁第2回』開催しました

10月5日 土曜日にぬまた農縁第2回を開催しました。芋掘り体験では、6月に参加者が植えたサツマイモを収穫していただきました。立派に育ったサツマイモを、参加者同士で協力しながら収穫していました。リース作りでは講師をお招きし、サツマイモのつるを活用して作りました。参加者が楽しそうに話し合いながら、素敵なリースを作っていました。昼食では、収穫したサツマイモや沼田市産の、米、野菜、豚肉などを使った、「沼田まるごといただきます！さつまいもカレー」を食べ、デザートにはリンゴやアップルパイを食べました。沼田市の魅力を感じられる、ぬまた農縁になったと思います。



芋掘り体験

小学生以来の芋掘り体験で懐かしかったです。



リース作り体験

自分で掘った芋づるを使ってリースを作るというのが斬新でよかった。

第3回のご案内

今年度ラスト！

- 日にち:令和7年2月22日(土)
- 時間10:00~14:00
- 体験内容:焼き芋・餅つき
- 参加費:2,500円~3,000円
- 参加者:農業の従事、または農業に興味のある
独身の男性・女性(20代~50代)各10名程度
- ※定員になり次第、募集を終了いたします。

参加申込QRコード



○お問い合わせ先
群馬県沼田市下之町888番地
沼田市農業委員会
電話:0278-23-2111(内:5018)

参加申込URL

<https://logoform.jp/f/ezm4i>

～農業委員会 リレートーク～

リレートーク5人目は、木内和男さんです。
町田町を中心に、枝豆を栽培しています。



テレビでも取り上げられた枝豆
その名も「豆王」!!

農業を沢山の人にとって欲しくて、枝豆栽培の様子をSNSに投稿しています。
趣味の登山を絡めながら発信していると、興味を持ってくれる方が思いの外多くてビックリ！
種まきから収穫まで、沢山の方が手伝いに来てくれます。中には、親子で愛知から！皆さんとても楽しんでます。きっかけはなんでもいい、まずは農業に関心を持ってくれたら👍



昼夜の寒暖差が大きい土地柄、
野菜や果樹がとても美味しく仕上がる沼田の地に”農”を通した
”縁”が沢山実りますように💕

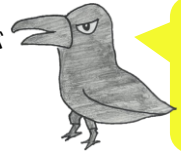


春山明子の野生動物被害対策コラム「⑤冬期が肝心 カラス対策」

こんにちは。私は野生動物による被害対策の仕事をしている株式会社群馬野生動物事務所の春山明子です。今回は、カラス対策で最も効果的な冬期の対策についてまとめてみました。なお、ここでのカラスとは、沼田市内で通常見られる「ハシボソガラス」と「ハシブトガラス」を指します。

令和6年4月～11月までに、沼田市役所に寄せられた鳥獣害の通報のうち、カラス被害は11件でした。カラスによる通報は、令和3年度は6件、令和4年度は5件、令和5年度は3件であり、今年度に急増したことがわかります。今までの被害は農畜産被害だけでしたが、今年度は「ゴミステーション荒らし」や「住宅地に集団でいる」などの生活被害が多く報告されました。

なぜここまでカラスの被害が急増したのかと言うと、カラスの個体数が増えていることが大きな原因と考えられます。カラスは、基本的に昼間は単独行動で餌を探します。カラスの寿命は野生では10年程度で、人間に例えると6才程度の知能があるとも言われています。そのため、良い餌場を覚えると頻繁に通いますが、餌が少ない冬期は、知能や経験がない若いカラスは餓死することが多く、さほど増加しませんでした。しかし現在、冬期の間に餓死するカラスが減っており、個体数の増加につながっています。では、カラスは何を食べて冬期を越しているのでしょうか？



ゴミをしつかり管理しよう

昔に比べると、沼田市内での積雪は減っており、**畑に残るダイコンやハクサイなどの収穫残渣を食べる機会が増えました。**また、**増加している放棄果樹のカキやクリを食べることもできます。**さらに、農業が大規模化することで大量に廃棄され放置される農作物も増えています。残渣や放棄果樹は、**人にとっては「ゴミ」や「いらぬ物」ですが、カラスにとっては冬期の貴重な餌**となり、これらを放置することは冬期を生き延びるカラスを増やすことにつながるのです。また、**栄養価が高い家畜の飼料も重要な餌**となるため、冬期は飼料の盗食が多くなります。これらのカラスの餌となり得るものを、冬期の間に適切に管理してカラスに食べられないようにすることで、カラスの増加を防ぐことができます。カラスの被害を減らすためには、冬期の残渣などの管理が肝心です。カラスの被害にお困りの方は、ぜひ一度、周囲の環境を点検されてみてはいかがでしょうか？

農業委員会からのお知らせ

【○ 地域計画策定後は、農地の貸借の方法が変わります！】

市内7地区で開催しました「地域農業の未来を考える会」にご参加いただき、みなさまの地域農業に対する『思い』などお聴かせくださりありがとうございました。その時にもお話ししましたが、令和7年4月から現行の「利用権設定」の方法が廃止され、相対での農地の貸借はできなくなり、農地中間管理機構（群馬県農業公社）を通した方法に1本化されます（農地法3条許可申請は除く）。そこで、貸借方法の変更前に現行の「利用権設定」での相対の貸借を希望される方のために、今年度のみ令和7年3月にもう1回設定することとしました。

つきましては、相対での貸借を希望される方は、**令和7年2月10日(月)までに**地元農業委員・推進委員または農業委員会事務局(Tel0278-23-2111(内線)5018/5019)へご連絡ください。

編集後記

農縁だよりを作成しております、石坂です。10月下旬から急に気温が下がりましたね。寒くなると体調を崩しやすくなります。そんなときには「冬野菜」を食べて、寒さも体調不良も吹き飛ばしましょう！冬野菜は、体を温めてくれる効果があるほか、免疫力を高めてくれます。また寒さによって甘くなるので、子どもでも食べやすいとか。

私は、冬野菜鍋に挑戦して今年の冬を乗り切ろうと思います。農業委員会事務局 石坂 万陽

